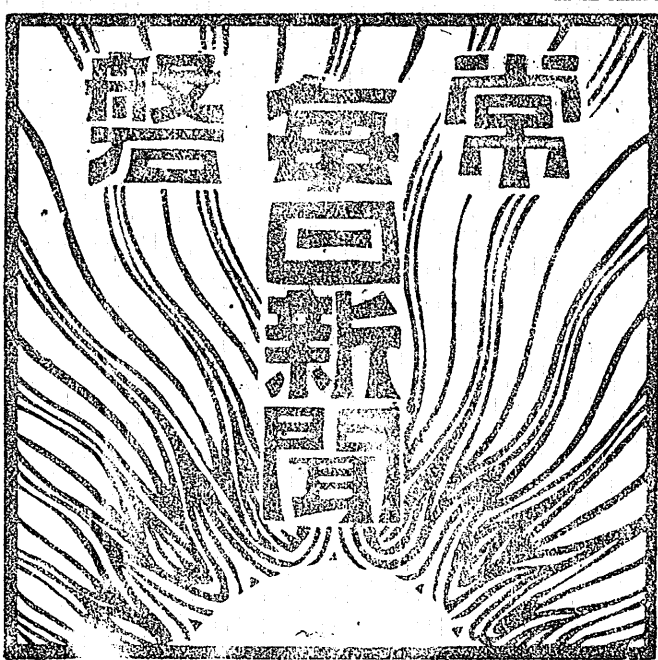


日刊 印刷 川崎文治 本社下向番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所



定部金貳錢 廣五號十二 告字詰一 料(五十錢) 日刊休(日曜大祭) 日祝日ノ登 福島縣石城郡平町長橋町三五 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

刊夕日九十月一十

各種 寒サ愈々迫ル
子供用 洋服
婦人用 ショール
婦人用 シヤツ
毛アンダー
コットンシヤツ
壹圓均一の特賣
ワイシャツの
賣切れぬ中に
ツルヤ
平町四(電話百四十番)

スター好
ナフトール着尺
新柄
モス着尺
新柄
ホグシ銘仙
其外色々取揃申候。
平町 (電話五七番)
龜田屋

理想的耐水耐熱接合劑
キングパスト
水か微温湯で溶せばすぐ
使へる簡単な膠着劑
一名コナニカワ
四季を通じ一度ついたら
膠着力は絶對的
理想的完全耐水耐熱の可
驚威力を發揮し防腐の効
果著し
小野屋藥店
電話四四番

鶴龜の意匠凝した
おいし
御土産折共
五品.....
御桃子壹本付
肉聲其まゝの高級
ビクターレコード枚、50
日本物と音楽
蓄音器針は
ビクター針先 35
一度御試聴下さい
蓄音器・貴金屬
會田時計店
平町四(電話三六三)

リウマチス、打撲、捻挫、
筋肉過勞の疼痛、神經痛、カタの凝りよ
奏効的確神の如き
「ホシのアルフア」
本劑は作用強烈な藥劑で有りますから眼の附近鼻に口
腔の附近婦人の陰部に用ひてはなりません
本劑で染擦する事に依つて如何に劇しき疼痛も何等の
副作用なく鎮靜させる事が出来ます
定價 金 三十錢
平町三丁目(電話四二九番)
星チエンストア
郵便局隣

方子様方 秋の御用意
幸福印 提供の特價通學服
極上小倉製半ズボン上下
一二年用.....一圓九十錢
二三年用.....二圓十錢
三四年用.....二圓三十錢
四五年用.....二圓五十錢
五六年用.....二圓七十錢
高等科用.....三圓十錢
中學生用.....三圓五十錢
☑ネルワイシヤツネクタイ
秋冬帽子各種取揃
平町五丁目(電話三五三番)
モリタヤ洋品店

大和家
蓄音器・貴金屬
會田時計店
平町四(電話三六三)

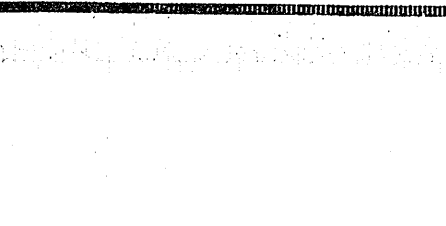
内臟外科 骨關節外科 整形外科 專門 藤本 順
產婦人科 院長 木村寅次郎
平町新川町
外科 產婦人科 木村醫院
電話一六四番

女王醬油御典記 謝恩大賣出
高級醬油 九升樽 五圓五十錢
最上醬油 九升樽 四圓五十錢
極上醬油 九升樽 貳圓七十錢
期間(十一月十六日ヨリ) 四十五日
平町材木町(電話七四一) 營業所
ヤマト醬油株式會社

外科 專光 入院應需
上田外科醫院
平町南町 電話一二九番
新築移轉
耳鼻咽喉科專門
氣管食道科
大和田醫院
平町南町(舊診療所向)電話一七〇番

村落生活の 變化と改造
村 夫 子

は到る所に存するが如きも
古來の歴史的資料は容易に
獲かたき事情にある近來農
業史又は農民社會史等の
研究起つたれば漸次村落生
活の史的事實を闡明せらる
ゝに至るであらう。何れに
しても從來の我が村落生活
には大變化を畫せる事情少
なく比較的單調である。大
體は自給自足の村落經濟に
て徳川時代に至り大小の藩
制となり城下なる都會生活
各所に起りて都市經濟と村
落經濟との間に連絡を生じ
市場と販路も漸次擴大した
のである、明治維新後は交
通機關の發達職業の自由移
轉の頻繁により遂に現在見



歐洲の學界には村落研究
に關する文獻が豊富にある
殊に英國に多いやうに思ふ
夫れだけ英國は早く都會化
され、村落生活の史實が興
味を惹くからでなからうか
同時に英國には比較的舊資
料の殘存せるが多い爲め
なからうか我邦の如きは今
尚ほ農業人口が半數を占め
都會三割村落七割の國柄な
れば聊かも珍らしからず現
狀研究となれば種々の材料

る如き都市集中の趨勢を來
し逐年多大の變化を來しつ
ゝある次第なるが村落史と
して最も興味多く且つ有益
なるは近世期たる徳川時代
と明治維新後並に現時の變
化状態と三期に分ちたる生
活の研究である。舊幕當時
の村落に關する資料は尙相
當料賦ある維新後に至りて
は勿論豊富である。彼等に
取り殊に重要な現時の變
化状態なるが其の豫備知識
としては少なくも徳川後期
に溯り舊時代の状態を知
要がある

平銀行の預金支拂へを停止

常磐銀行との合併談進む 主もなる預金者諒解

平銀行は常磐銀行との合併に關する協議が愈々進行具體化するに至つた爲め本日午後八時より一ヶ月間預金支拂を一時停止する事となり昨夜八時

平町の 主もなる預金者に樓上へ集合を乞ひ山崎頭取より業務の概況に關する説明あり支拂停止のや

同情を 注ぎ一日も速やかに合併の實現せん事を望んで引き取つた

事茲に及ぶ 止むなき事情

合併談が進捗して 預金者も株主の利益確保

平銀行は卅餘年の永い歴史を有し其の營業振に盤石の強みがあつた處多大の信用を博して居たのであるが先に磐城銀行が休業して以來盛んに流言蜚語が放たれた結果預金の

取付に 遭遇し殊に四倉銀行の支拂制限に依つて一般預金者は其餘波が親銀行である平銀行にも及ばすべきを危懼せる爲め引出しは依然として止まなかつた、一方平銀行にては此際株主及び預金者の利益を確保せんが爲め大資本と結んで難關を

打開せ んとして川崎八右衛門氏の第百系統として財界に主もきを爲して

悪宣傳

と相俟つて必らず取付騒ぎを惹起する事は火を見るよりも明らかであり斯くては折角の基礎も齟齬に歸し寧ろ同行を徹底的に信頼して居た預金者に損害を掛ける結果となる處から戸締めをする程に至つて居ない今日

大英斷 を以つて支拂停止の舉に及ぶは同行の

運命轉換策として極めて妥當の處置であるを爲し相手方の常磐銀行とも一脈の諒解を得て此事を決定するに至つたものゝ如くである

此際惡宣傳に對して 一層警戒の必要あり

疑問は問合されたし

今回支拂停止の大英斷に出でた平銀行の預金現在額は三百廿萬圓であるが現金としては廿五萬三千餘を所持し居り且つ

拂込金 の七十五萬圓準備金の五十六萬圓また廿餘萬圓の不動産其他の物件あり更に貸金は四百廿萬圓の巨額に達して居るから此内約一割が回収困難であるを見ては餘裕は噴々たるものである従つて預金者に

迷惑を を掛ける様な事は斷じてあるべきではないから種々の惡宣傳を放つて預金の買集め等を爲す者の奸言に乗せられる事のない様に注意を要する若し疑惑を生ずるが如き言を耳にした場合は機を逸せず直接同行に問合して今後の成行きを注目されたしとの

高岡重役談

前後の事情を 配量して決意

高岡唯一郎氏は語る「我々としても勿論支拂の停止を致さずして常磐との合併談を進めて行き度い考へであつたのだが前後の事情を配量し寧ろ戸を締めて交渉を進めた方が適當の處置であるとの決意から今回の支拂停止を見事に至つたのである

つて今夕(十八日)迄行員の者は雖も一名も此事を知つた者はない、従つて重役及び行員の内で此事を豫知し



たわん鶴の子かぶ、松葉ゆず

拵へ方——直徑四寸位の天王寺蕪をよく洗ひまして八つに切りそれを皮をむきな

がら鶴の子餅の様な形になり、お鍋に入れて糠を入れ柔かく白く茹でます。きれいに洗ひぬかにあげておきま

す。鳥は並切にして醬油にくるませて置きます、三ツ葉は洗つて一寸位に切りま

す、出汁が煮立ちましたら醬油にくるませてある鳥を入れ、二三分の後、前に茹

た蕪を入れまして四五分間煮ます。三ツ葉は火から卸すちよつと前に入れます。お椀に鶴の子かぶ二個と鳥三切れを入れ三ツ葉を入れお汁をそよきます、この中へ松葉柚子を入れます、松葉柚子とは柚子の皮を薄くむいて細く折れ松葉の様に切つたものです

何れも意義深く

平各校の記念事業

▽御大典を壽いで

平町及び各學校に於ける御大典記念事業は左の如くである

- △磐城中等學校 十七日体育的施設としてマラソン競争を行つた
- △磐城高等女學校 職員生徒の記念事業として一、記念庭園二、校庭にベンチを備付けること
- △磐城訓盲院 一、盲人救濟の資金募集
- △磐城實科女學校 一、國旗の新調二、式場用募の新調
- △中商業學校 一、記念文庫の設置

無理な注文を 拒絶されて亂暴

坑夫三名が訴らる

石城郡湯本町字三函古物商兼節商小熊福治(三)が去る十五日午後七時頃自宅で節製造中棟續きの隣家飲食店

小倉つめ方で酒宴中の同所入山炭礦坑夫兒玉新吉(三)外二名がその夜某がやかましいからやめろと交渉した

耶馬溪賑ふ

昨日の日曜に

磐城耶馬溪として知られてゐる石城郡川前地方の溪谷は二三日前より秋色一段と濃やかくなつたので石城地方の人々は十八日の日曜を利用して最勝地へ杖を曳いたため平野は非常な雑踏

値段がよくなる

當業者大喜び

石城郡の山間部落である田人上遠野地方より東京方面の市場に移出して毎年好評を博してゐる磐城蕪粉は昨今漸く收獲期に入り結果は昨年より極めて良好で取引も比較的高値を呼んでゐるが相場は玉一貫目四十五錢見當製粉一貫目四圓二十錢であるが何れも昨年より玉に於て十錢粉において一圓二十錢の暴騰を示し地方仲買人は非常に喜んで居る